

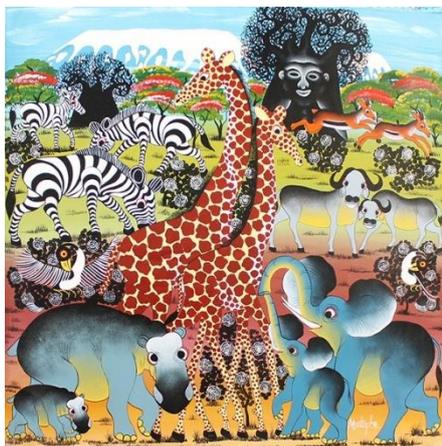
バラカティンガティンガぬりえワークショップ流れ (指導者用)

新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言 期間限定企画

【ティンガティンガ・アートとは】

1968年に東アフリカ・タンザニアにおいて、エドワード・サイディ・ティンガティンガ（1932～1972）が、6色のエナメルペンキを用いて、建築用合板に、自国の豊かな自然、動物や鳥、人々の暮らしを、色鮮やかに描き出したのがはじまり。

誕生から50年が経った今、ティンガティンガ芸術工房において、約100名のアーティストたちが、創始者の作風や精神を引き継ぎ活動している。



ティンガティンガ芸術村の様子



【ぬりえの流れ】

① 準備物

- バラカティンガティンガぬりえ (HPより無料ダウンロード可)
<https://africafe.jp/nyeupe20tinga.html>
- 絵の具 6色 (赤・青・黄・緑・白・黒)
- パレット
- 筆 2本 (太いもの・細いもの)
- 水入れ



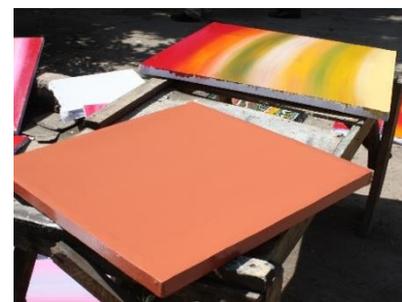
② 背景のグラデーション

→6色のアクリル絵の具を組み合わせ、お好みの色を作り、キャンパスの上に背色を塗る。筆はうちわをあおぐように左右に動かしながら、絵の具をたっぷりと使い、キャンパスをパレットがわりに上から下へと塗る。

〈使うもの〉太い、平たい筆

〈ポイント〉色と色の境目を自然に馴染ませる。

～ドライヤー冷風で、しっかりと乾かす～ (5分ぐらいがめやす)



③ 動物の体に色を塗る

→単色で、好きな色を塗る。輪郭線を塗りつぶしてしまってもOK。

〈使うもの〉少し太い筆

〈ポイント〉背景を塗ったときよりも水を少なくし、濃い色で塗る。

～ドライヤー冷風で、しっかりと乾かす～ (5分ぐらいがめやす)



③ ボディへのグラデーション

→動物の背中や腹部など、グラデーションをかけたいところに、細い筆で少量の色を乗せる。

それを乾いた太い筆で、軽くぼかしていく。

〈使うもの〉 細い筆&乾いた少し太い筆

〈ポイント〉 胴体、首元、口回りなどにグラデーションをする。



④ ボディへの模様入れ

→細い筆を使って、好きな模様を入れる。

〈使うもの〉 細い筆

〈ポイント〉 とにかく柄選びは自由に

⑤ 輪郭&目入れ&サイン

→動物の輪郭線を入れることで、動物のシルエットがぐんと浮かび上がる。

ラストは目入れを。目は、作家さんに似るそうですよ。

〈使うもの〉 細い筆

〈ポイント〉 塗り絵の輪郭をもう一度ゆっくりとなぞる。



⑥ 完成



【講師 アーティスト紹介】



Yaphidu (ヤフィドゥ)

1976年 トンドゥール地方 ナカパーニャ村生まれ

美しい色合いと繊細なタッチで、独自のちょっぴり不思議な動物ワールドを展開中。オーソドックスなスタイルから、個性派へと転身したのは1995年のこと。大型動物と小さな脇役たちが奏でるやさしいストーリー、長老アモンデ氏の作風を受け継ぐ、唯一のアーティスト。氏の逝去にあたり、アモンデの作風を世界に残すべく、製作を始めている。2017年秋初来日、今回で4回目の来日。

アフリカ製品輸入元 (株)バラカ
〒542-0012 大阪市中央区谷町 9-5-15 中田ビル 4F
TEL:06-6763-1155 FAX:06-6763-1145
HP: <https://africafe.jp/>

画像および文章を、無断で複写、転載することをお断りします
Copyrights (C) Baraka Co;Ltd. All rights reserved.

